

所属名	静岡県立島田商業高等学校
<b>1 児童・生徒との携帯電話での連絡及びメール・SNSの使用について</b>	
(1) 平日における携帯電話での連絡について	
ア 生徒へ連絡を行う場合は、生徒の携帯電話には行わず、生徒宅の固定電話か、保護者の携帯電話に連絡を行う。左記連絡先への連絡が取れない場合、学校の電話を使用して生徒の携帯電話に連絡をとる。	
イ 生徒からの連絡は、教職員個人の携帯電話ではなく、学校の電話に連絡するよう指導する。	
ウ 緊急の連絡を必要とする場合、又は生徒の安全・人命等に影響を及ぼす場合で、早急に生徒の居場所等を特定する必要がある場合は、この限りではない。	
(2) 休日等に携帯電話・メール・SNSを使用する場合について	
ア 教職員と生徒の間で携帯電話・メール・SNSを使用する場合は、教育活動(部活動・行事指導等)で、かつ関係生徒全員に関わる場合に限ることとし、個人的な指導や私的なやりとりは一切行わない。	
イ 教育活動で全員に関わる場合であっても、その趣旨を保護者に十分説明するなど、保護者から誤解を受けないように努めることとする。	
<b>2 生徒との面談や相談等の実施方法について</b>	
ア 生徒との面談や相談等は、原則として電話(携帯電話を含む)やメール・SNSを使用して行わない。	
イ 原則として校内又は保護者在宅時の生徒宅で実施する。	
ウ 実施する場合は、教職員個人で対応せず、組織的に対応し教職員間で情報を共有し透明性を高める。特に、突発的な個人面談や相談等については、教職員間の報告・連絡・相談を密にし、教職員個人で対応しないようにする。	
エ やむを得ず、1対1で実施する場合は、密室とならないよう、実施する部屋の窓や扉を開けるなど疑義を受けない等の配慮をするとともに、管理職又は他の教職員にあらかじめ伝えておく。	
<b>3 普段の生徒の関わりについて</b>	
ア 日頃から生徒への声掛けを行う。	
イ 不調を訴える生徒の言葉を受け止める。	
ウ 生徒との約束を守る。	
エ 生徒に対する行動と発言に矛盾がないか自己行動確認する。	
オ 生徒に対して間違った言動をしてしまった場合は、誤りを認め適切な行動をとる。	
カ 他の生徒の間違いや失敗を嘲笑する生徒を放置しない。	
キ 生徒が混乱しないよう、指示に変更があった場合は変更点を口頭のみではなく、文書等により明確に示す。	
<b>4 教職員の自家用車への、生徒の乗車について</b>	
原則として、自家用車には、生徒を乗車させない。ただし、緊急等の場合を除く。	
<b>5 生徒の問題行動への生徒指導について</b>	
ア 生徒指導に当たっては、複数の教員で対応することを原則とし、必ず記録をとる。	
イ 生徒の人権を尊重し、家庭と連携した指導を行う。	
ウ 生徒指導は、短時間かつ簡潔に行うことを原則とする。	
エ 必ず事実を確認し、生徒の考えを聞いたうえで、生徒の言動の問題点を生徒自身が理解できるように指導する。	
オ 威圧的に大声で怒鳴る指導は行わない。(生命に関するようなこと、緊急時以外では、大声での指導はしない。)	
カ どのような理由があっても、体罰等の身体的暴力、暴言等の精神的暴力は行わない。	
<b>6 その他</b>	
上記1～5の共通ルールでは対応できないような状況が発生した場合は、管理職の許可を得て対応する。	